

製品名: SNAP 23 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18043**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	SNAP-23
別名	SNAP23; Synaptosomal-associated protein 23; SNAP-23; Vesicle-membrane fusion protein SNAP-23
遺伝子 ID	8773.0
SwissProt ID	O00161
免疫原	抗血清はヒト SNAP23 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

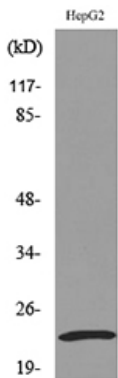
背景

小胞輸送の特異性は、シナプトブレビン/VAMPと呼ばれる小胞関連膜タンパク質とシンタキシンと呼ばれる標的区画膜タンパク質との相互作用によって部分的に制御されています。これらのタンパク質は、SNAP25 (25 kDaのシナプトソーム関連タンパク質) とともに複合体を形成し、これが膜融合機構全体の結合部位として機能します。シナプトブレビン/VAMPとシンタキシンは、すべてではないにしてもほとんどの細胞で小胞輸送に関与していると考えられていますが、SNAP25はほぼ脳にのみ存在するため、他の組織で輸送小胞/標的膜の融合を促進するために、普遍的に発現するSNAP25の相同遺伝子が存在することが示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、構造的にも機能的にもSNAP25に類似しており、複数のシンタキシンおよびシナプトブレビン/VAMPに強く結合します。これは、高親和性受容体の必須成分であり、膜融合機構全般に必須であり、輸送小胞のドッキングおよび融合の重要な調節因子です。類似性: SNAP-25ファミリーに属します。類似性: 2つのt-SNAREコイルドコイル相同ドメインを含みます。細胞内局在: 主に細胞膜に局在します。サブユニット: SNAP25BPおよびSYN4に同時に結合します。膵臓ではVAMP8およびSTX4との複合体として存在します(類似性による)。複数のシンタキシンおよびシナプトブレビン/VAMPに強く結合します。VAMP8およびSTX1Aとの複合体として存在します。組織特異性: 普遍的に存在します。胎盤に最も多く存在します。

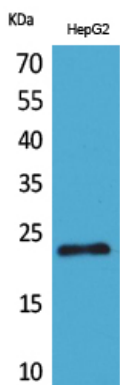
研究分野

小胞輸送におけるSNARE相互作用;

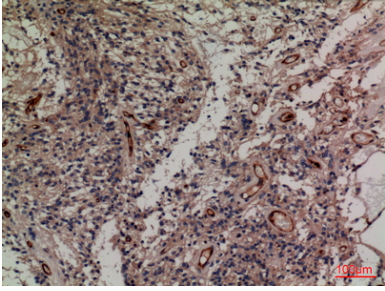
画像データ



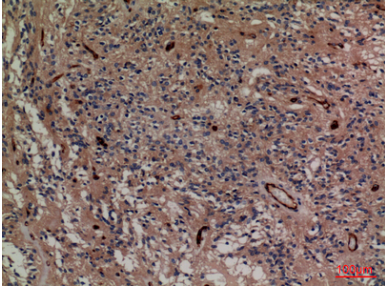
SNAP23抗体を使用したHepG2細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



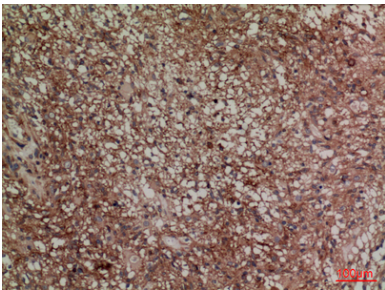
SNAP23ポリクローナル抗体を用いたHepG2細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



パラフィン包埋ヒト卵巣癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト卵巣癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された